

親しく正しく和やかに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）

本覺山妙壽寺が発行する寺報です。

檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



平成 24 年 9 月 1 日 発行

本覺山 妙壽寺 (法華宗 (本門流))

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1

電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427

ホームページ http://myojyuji.or.jp



無縁社会と寺縁 その8

来る9月3日、東京ブディストクラブ(須藤大恵会長・仏教各宗派の有志寺院住職の会・当
上人会員)が主催となり、テレビ番組「笑点」レギュラーの三遊亭好楽師匠による復興応援独演
会が宮城県女川町で開催されます。

これは昨年6月16日、第1回東京ブディストクラブ被災地巡拝の地であった女川町とご縁で
復興支援の一つとして行うものであり、さらに同会メンバーと好楽師匠の30年来の交遊のご縁に
よるものです。

女川町の蒲鉾本舗「高政」・高橋社長室長(ご尊父は同社社長・女川町復興連絡協議会会長)
と今回の企画についての打ち合わせを行い、大震災大津波より1年5カ月の同町の現状についてお
話を伺いました。そこにはなかなか復興の進まぬ現状と、心のケアを含めての支援、それを受け
る側とのミスマッチがあるように感じられました。

今、日本仏教にとって、その将来を展望し、今後の五十年百年を期する重要且つ大きな分岐点
にあると思います。私どもはこの東京の地において、関東大震災・東京大空襲を体験・伝承した
者として、被災地に対し出来ることを果たしていく責務があると考えます。

オープンテラス
“七夕を遊ぼう”



6月30日、日本に住む外国人家族と風物詩について学ぶ「日本を楽しもう!七夕」
(NPO和なびジャパン主催)が当山鍋島客殿において行われました。竹の枝に短冊を飾つたり、
白玉のデザートを作るなど、日本語と英語による解説で50名程が楽しみました。

作家 三浦しをんさん、来山



今話題の作家、三浦しをんさんが着物好きに愛読されている雑誌『七緒』(プレジデント社)の取材で、妙壽寺を来訪されました。
ご本人はしっとりとした、笑顔を絶やさない、かわいらしい方で、女性カメラマンの無茶ぶりにも素直に
応えていらっしゃいました。

取材場所に選ばれた当山は、世田谷の隠れた名所となっているようです。『七緒』9月号を是非お楽しみください。

三浦さんの小説『舟を編む』(光文社)は、全国の書店員が一番売りたい本を投票で選ぶ今年の「本屋大賞」に選ばれました。出版社に勤める青年が辞書編集部に異動し、個性的な人々に囲まれて新しい辞典作りに取り組んでいくというストーリーです。ところどころユーモアがちりばめられ、地道に生きていく人々への讃美が面々と紡がれています。読後感の良い一冊です。(三吉久美記)

(写真は、三浦さん=右、当住久美夫人=左)

予告

平成 25 年 5 月 3 日 ~ 5 日

関西二大本山(本能寺・本興寺)門祖日隆聖人
第 550 遠忌大法要巡拝旅行 (後日詳細ご案内)

妙壽寺 2012秋・冬スケジュール

9月22日(土) 秋季彼岸会中日合同法要・動物廟法要

午前 11 時: 中日合同法要 初座
午後 12 時: 動物廟法要
午後 12 時 30 分: 歴代墓所・正隆廟法要
午後 2 時: 中日合同法要 第二座

11月3日(土) 当山御会式法要

午前 11 時: 七五三法要
午後 1 時: 法話
午後 2 時: 法要 組寺有縁上人出仕

日程未定 正隆会・秋のウォーク

正隆会 [SHORYU-kai]

月例講
ご案内

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会は、毎回1時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

- 9月8日(土) 勉強会『心が温くなる日蓮の言葉』拝読5
- 10月 秋のウォーク予定・日程は未定。
- 11月10日(土) 写経会
- 12月8日(土) 釈尊成道会三千遍唱題会・勉強会(同上) 拝読6
- 1月12日(土) 初題目
- 2月9日(土) 勉強会(同上) 拝読7
- 3月9日(土) 写経会



奉納能楽「葵上」上演

会期/平成 24 年 10 月 14 日(日)
午後 4 時開演(午後 3 時半開場)
会場/妙壽寺本堂
参加費/ 5000 円 (学生 2000 円)

チケット好評発売中

お申し込みは、氏名・住所・電話番号・枚数をご記入の上、FAX03-3308-7427(妙壽寺)へ送信してください。または代々木果逦会 TEL03-3370-2757 E-mail info@yoyoginoubutai.com

昨年6月、当山開闢以来、初めてとなった奉納能楽「鶴飼」が本堂御宝前において披露され、二百余名の参会者を得て好評を博しました。今後も是非継続して欲しいという声を多くいただき、第2回「葵上」を上演する運びとなりました。代々木果逦会は、観世流能楽師の浅見真高・浅見真州・小早川修・浅見慈一が主催する会で、平成10年に発足いたしました。会の命名は浅見真高によるもので、「果逦」の「果」は果て、「逦」は遙かを意味しています。世阿弥の伝書『花鏡』奥段に書かれた言葉、「命には終りあり、能には果てあるべからず」から取られており、能の修行はどこまでも果てが無いという意味が込められています。

新宿から程近い代々木能舞台(登録有形文化財)において、メンバーによる定期的な公演や能楽鑑賞のためのレクチャーを行い、600年の歴史を持つ伝統芸能のさらなる普及に力を尽くしてまいります。さて演目の「葵上」は、真高師の長男・浅見慈一師がシテを演じます。「葵上」は、源氏物語を題材とするお能の代表作です。源氏物語の中でも印象的な賀茂の祭りの車争いの場面での主人公、葵上と六条御息所。お能では舞台上に置かれた一枚の小袖が葵上を表し、苦しい恋の怨念のため生霊となった六条御息所が「悟りの智慧」へと変じながら、行者の祈禱によって法力に屈していく物語です。すさまじい般若の様相に反って哀れみを感じる、女性ならではの感情移入のし易いお能だと思えます。涼やかな秋の夜を竹灯籠のあかりの下、幽玄の世界をお楽しみいただけます。

本上演の前に本堂において、当住上人の講話、レクチャー講演を行います。また、鍋島客殿に於いてはお休み処も一層充実させ、皆様のご来場をお待ちしております。

代々木果逦会別会 第二回竹灯籠能会
来る10月14日、当山本堂にて開催されます。

清明庵 (鶴沼海岸)

7月23日 信徒三十余名にて盂蘭盆会唱題の供養が行われました。法話では青年僧二上人(吉崎隆生・佐藤龍昂両師)による明朗快活な御法話がありました。

8月23日 清明庵伊東支部主催により、楠山豊治邸のご宝前において二十余名の参列のもと海施餓鬼唱題が奉修されました。昼食供養席をはさみ、伊東港から船にて俎岩を巡拝し、宗祖日蓮大聖人御尊像前にて唱題行が行われました。

日蓮教会 (桑港)

7月29日 サンフランシスコ日本町の日蓮教会において、四十名余のメンバーが参集して盂蘭盆会法要が奉修され、当住上人法話に続き、同教会石田和磨会長による盂蘭盆会スピーチ、階下において持ち寄りのポトラックランチとなりました。尚、前日の土曜日には表千家四方宗順(順子)先生社中によるお茶事があり、当住上人、園田顕教師、石田妙子・鈴木友子さんが出席しました。

[義捐金のお知らせ]

本年3月の大震災一周忌以降に寄せられた義捐金は福島市立正院(住職・矢吹泰英上人)日光市瑞光寺(住職・高村法顕上人)に等分にお届けし、瑞光寺様には妙壽会旅行での同寺参拝においてお渡し致しました。



5月15日 小西日邊院下管長推戴式
大本山本興寺小西日邊院下管長推戴式が同大本山ご本堂において厳粛に奉修され、その後尼崎ホテルアルカイクにおいて同祝賀会が華やかに開催されました。
同祝賀は御挨拶の中で、日隆聖人の御聖教の格護とその精神の発揚を誓われました。



5月22日 法華宗宗議会議開
人形町の法華宗宗議院において第66次定期集會が開催され、当住上人(東京教区選出宗議員)が出席され、明日の宗門に向けての活発な議論がなされ、本宗において脱原発の声明文が議決されました。

声明文

一、立正安国の理念に基づき、東日本大震災被災地の復旧復興がすみやかに進められ、心身ともに安穩なる社会を目指して今後とも精進いたします。

一、東京電力福島第一原発事故の一日も早い収束を祈り、原子力発電による社会の実現に向け、努力してまいります。

平成二十四年五月二十四日
法華宗(本門流)
法華宗(本門流) 第六十六次宗会

5月22日~6月3日 「村山秀紀・裂に遊ぶ」展



村山秀紀氏(当山世話人役員)の展覧会が西麻布ギャラリー ル・ベインにおいて開催され、当山関係者はじめ多くの方が来場し、その洗練された革新的な京表具の技法に魅了されました。

6月3・4日 妙壽会旅行

当山役員・婦人会・お手伝い・職員の親睦旅行会である妙壽会は、昨年の大震災により中止となりましたが、本年は大震災により多くの影響を受けた「益子と日光の旅」へ18名にて訪れました。下記に詳細をお送りします。

6月24日 植田家先代五十回忌法要



当山総代植田新太郎氏(ウエタジネラー)会長のご尊父植田富士朗様(本寿院昌徳智雄日朗居士昭和三十八年七月二十二日逝去)の五十回忌が当山本堂において厳粛にご修行、ご親族25名が参拝されました。また帝国ホテルにおける供養席に、久美夫人(当住上人代理)が出席されました。

6月26日 当住上人岡山巡拝

当住上人がかねて参拝を希望しておりましたサンフランシスコ日蓮教会信徒阿部和子さんの墓参供養に岡山市の菩提寺を参られ、ご主人阿部尚司氏のご案内にて牛窓本蓮寺(圓成昭龍上人を参拝され、先代上人(大本山本興寺御閉土貫名日誦上人)のご回向を申し上げました。

7月7日 平島盛龍先生正隆会特別講義

正隆会恒例の平島上人(法華宗興隆学林教授、徳島市妙典寺住職)による特別講義が開講されました。ここに伊東千秋(妙潤)さんの受講レポートをお送りします。



ご自坊妙典寺本堂再建中の柱組みの傍らの平島先生

7月16日 盂蘭盆会法要

当山盂蘭盆会付施餓鬼法要が暑さ厳しき中、24名の寺院上人のご出仕を得て奉修され、新益子家族を始めとする五百名余のご参詣を頂きました。

8月2日 元婦人会会長・丹野久刀自逝去

丹野久刀自が逝去されました(常貞院妙久日徳大姉、享年94歳)。刀自は当山元総代丹野政雄氏夫人として内助の功を尽くされ、また、当山婦人会会長として長年にわたり、当山維持に尽くされました。

同月6日、7日、桐ヶ谷斎場にての通夜、葬儀には当住上人、佐々木上人、園田・石塚両師が読経供養し、婦人会の関係各位はじめ、多くの方々も参列されました。ここに冥福をお祈りいたします。

8月15日 終戦記念日追悼唱題行

午前11時より、大坪顕孝導師により戦死戦没追悼の唱題行が行われました。

正隆会勉強会

平島盛龍上人の講義を拝聴して

当山徒弟 伊東千明 (妙潤)

平成24年7月7日、正隆会のお経とお焼香の後に平島盛龍上人の講義を拝聴させていただきました。平島上人とは毎夏、妙壽寺にご滞在の際に当山久美夫人と供にお食事を一緒にさせていただいておりましたが、3年ほど前から何らかの御上人の講義を拝聴する機会をいただき、そのわかりやすく貴重なお話に感動いたしておりました。

今回の講義のテーマは「御題目のルーツをさぐる」です。はじめに本堂内陣の造りやお焼香のマナーについてお教えいただき、日頃何げなく行っている所作を正しい方法で確認することができました。本題に入り、法華経の構成、宗祖以前の唱題と宗祖の唱題の比較、私たちが日常お題目をお唱えすることの意味などについてのお話がありました。出席の皆さんはメモを取るなどして熱心に聞いておられました。



日光金谷ホテルにて。この後、2階のレストランにおいてビーフシチューを舌鼓



日光市今市瑞光寺参拝。前列中央右から、当住上人、住職高村法顕上人、同妙浩夫人



今話題の東京スカイツリーなどのタワーの建築のルーツと言われる日光東照宮五重塔にて

妙壽会旅行

益子と日光の旅 (6月3・4日)

Table with travel itinerary for June 3rd and 4th, including destinations like Kanaya Hotel, Sunlight Shrine, and various temples.

当山檀家で『ガラスのうさぎ』著者であられる高木敏子氏の随筆をここにお送りいたします。

ESSAY

「隅田川」

檀信徒 高木敏子

「春のうららの隅田川」と歌われた位、昭和の初頃の隅田川は綺麗だった。昼間は両国橋のたもとから、ボンボン蒸気の船が浅草に向かって上り又下って来ていた。あとで判った事だが、葛飾北斎や勝海舟(生誕の地)や芥川龍之介が、祖母の所に養子に来て、川の近くに住んでいた。作品の中に隅田川の杭の話が文中にある小説もある。私は昭和七年生れだが、昭和十二年位までは、のどかな風景だった。

(雑誌「水と流れ」より転載)